

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成17年3月10日(2005.3.10)

【公表番号】特表2000-515807(P2000-515807A)

【公表日】平成12年11月28日(2000.11.28)

【出願番号】特願平10-508476

【国際特許分類第7版】

B 0 1 J 27/19

B 0 1 D 53/86

【F I】

B 0 1 J 27/19 A

B 0 1 D 53/36 Z A B D

【手続補正書】

【提出日】平成16年6月3日(2004.6.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

# 手 続 補 正 書

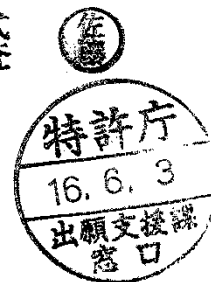
平成16年 6月 3日

特許庁長官 今井 康夫 殿

- 1. 事件の表示 平成10年特許願第508476号
- 2. 発明の名称 触媒組成物、その調製、及び接触灰化におけるその使用
- 3. 補正をする者
  - 事件との関係 特許出願人
  - 名 称 シエル・インターナショナル・リサーチ・マーチャツ  
パイ・ベー・ウイ
- 4. 代 理 人
  - 郵便番号 106-0042
  - 住 所 東京都港区麻布狸穴町62番地の5 川原田ビル2階
  - 電話番号 03-3560-1580~1
  - ファクシミリ 03-3560-1582
  - 氏 名 (6435) 弁理士 川原田 一穂
- 5. 補正命令の日付 自 発
- 6. 補正対象書類名 請求の範囲
- 7. 補正対象項目名 請求の範囲
- 8. 補正の内容 請求の範囲を別紙の通り補正する。



方 式 審 査



## 補正請求の範囲

1. 触媒組成物であって、
  - (i) 第1の金属成分としてビスマス、及び
  - (ii) 第2の金属成分として少なくとも1種のIIA族金属、からなり、  
アルミニウムと燐とからなる担体ではない耐火性酸化物担体上に支持された、触媒組成物。
2. 該IIA族金属がカルシウムである請求項1の触媒組成物。
3. 該担体がアルミナである請求項1又は2の触媒組成物。
4. 該ビスマスは触媒組成物の全重量を基準とする金属量で表して0.5～10重量%存在し、該第2の金属成分はこの金属成分のビスマスに対するモル比が少なくとも0.2となるような量で存在する請求項1～3のうちのいずれか1つの触媒組成物。
5. (a) 該耐火性酸化物担体を、ビスマスの溶存塩1種以上と、少なくとも1種のIIA族金属とからなる溶液1種以上で処理し、  
(b) このように含浸した担体を乾燥し、カ焼する、  
工程からなる請求項1～4のうちのいずれか1つの触媒組成物の調製方法。
6. 請求項1～5のうちのいずれか1つの触媒の存在下で硫黄化合物含有ガスを酸素含有ガスと接触させることによる該硫黄化合物含有ガスの灰化方法。